

松井 孝治 京都市長 挨拶

川本支社長様をはじめ、イオングループの皆様方、年度始めのお忙しい時期に京都市役所までおいでくださり、この宣言書へ御署名をいただきましたことに心から感謝申し上げます。また、メディアの皆様もお忙しいところお越しいただきありがとうございます。

ただ今、川本支社長様が仰ったとおり、イオン様は「木を植えています」というスローガンを1990年から掲げられており、時代を先取りされておられる。京都議定書誕生の前から、環境配慮型企業として社会変革を起こすことに意を払っていただいていることに心から敬意を表します。

また、川本支社長様から御紹介がありましたとおり、当時のジャスコ東山二条店からマイバッグ持参・レジ袋有料化という取組が始まり、それが全国的に広がって、令和にはレジ袋の有料化が社会制度になった。京都の力、そういうものを1つの企業が、京都の地で始めていただいて、それが時を経て全国的な運動になる、あるいは、世界的な運動になるという展開をしていただいていることも含めて、感謝を申し上げます。

先ほども控え室でお話をしておりましたが、イオン様は日本を代表するスーパーマーケットを展開されると同時に、小売全体でより小さなお店、関東で言うと、コンビニ型の店舗まで含めて、様々な展開をされておられます。

先ほど、御紹介があったことを私からは繰り返しませんが、「〃捨てる〃から〃つなぐ〃」ということで、例えばリサイクルについて、大規模スーパーでなさっていた店頭回収を、ドラッグストアでも始められる。全国にドラッグストアはすごく増えていますが、京都で始められる店舗が何件かであったとしても、これが他のドラッグストアにも大きな刺激を与えて、京都から社会変革を芽吹かせていただきつつあることに、私はとても期待をしております。

「〃捨てる〃から〃つなぐ〃」、「〃ごみを出さない〃」というライフスタイル、また、それを皆さんに体感していただくという3項目は、双方で練らせていただいた中身であります。新京都戦略でも「〃つなぐ〃」というのは、次の世代につなぐということと、社会全体で色々な方が連帯・絆を強めていくということの2つの意味で使わせていただいております。

まさにこの「〃つなぐ〃」ということについて、京都市は環境先進都市でなければいけないと思っております。色々な試みをしているところですが、その1つの展開として、イオン様という日本を代表する小売店で、しかも、大規模スーパーだけではなくてドラッグス

トアを含めて市民生活に身近なところで、サーキュラーエコノミーをさらに展開していただけることは本当にありがたいことだと思います。

京都のまちは、京都議定書誕生の地でもありますし、もっと遡れば、三山に囲まれ、そして豊かな水によってこの京都の生活文化というのが築き上げられてる。そのことを我々は噛み締めて、これからの京都まちづくりにおいて、地道な見えるところから、イオングループ様と、また、本日お見えのウエルシア薬局様、シミズ薬品様としっかりと手を携えて、環境先進都市としてサーキュラーエコノミーの推進に全力を上げていきたいと思っています。

本日は、ありがとうございます。また、よろしくお願いいたします。